

## 市政に対する一般質問

(令和7年6月18日)

### ◎質問1番

4番 佐藤 瑞穂

#### 1 小千谷市こども計画について

- ① 小千谷市こども計画の策定に関して、これまでの当市のこども施策の経過と今後の施策実行の展開イメージについて伺います。
- ② こども若者調査の結果について概況を伺います。
- ③ こども若者調査の結果、こども・若者の自己有用感について30歳～35歳が最も低い結果となりました。どのような要因があり、今後どのような対策が必要か。
- ④ こども若者調査は、配布数1,000件に対して、有効回収数が382件、有効回収率38.2%と、こども計画の策定段階で実施したその他の調査に比べて解答率の低さが際立っています。その要因分析と併せて、若者の実情を反映してより施策の効果を高めるために、当事者である若者のリアルな声をいかに集めるか、今後の方策は。
- ⑤ こどもからの意見聴取の結果、こどもの権利について「大人たちに知ってほしい」という回答が最多となった。今後、どのように大人たちである市民にこどもの権利について伝え、理解を広めていくのか、方策を伺います。
- ⑥ 今回の計画策定に用いたデジタルな手法調査は、今後、市政に関する調査手法や統計資料作りに大いに活用できるものと思いますが、今後の調査継続や統計・データのDX化の展開の面から一連の調査手法をどのように評価しているか、伺います。
- ⑦ 県のこども条例・計画との相関や相違と併せて、県が基本理念に掲げる「こどもが意見を表明する機会の確保」はどのように行なっていくのか、より具体的な方向性を伺います。
- ⑧ 小千谷市では現在、学校の在り方検討委員会での議論も進んでいます。こどもたちに直接関わる学校教育、部活動などの社会教育に関しても、こどもたちから直接声を聴く機会を確保する必要があるのではないのでしょうか。現在、市が取り組んでいる課題の中で、こどもに意見を聴く事例にはどのようなものがあるか、概況を伺います。
- ⑨ こども計画においても、児童遊園整備事業について、令和5年度実績の補助町内数7を令和11年度目標として継続するとありますが、その状況はいかがでしょうか。こども計画の理念に照らせば、こどもたちが

希望するものに対して、大人である私たちがどのように応えられるか問い直さなくてはならないように感じます。ご見解を伺います。

## 2 若者の孤独・孤立対策について

- ① 「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会」さらには「相互に支え合い、人と人とのつながりが生まれる社会」を目指すものとして、孤独・孤立対策推進法が令和6年に施行されました。小千谷市において、若者の孤独・孤立対策の必要性はどのように評価していますでしょうか。
- ② 新たに第2期がスタートした小千谷市自殺対策計画と若者の孤独・孤立対策との関係性はどのようなものか、伺います。

### ◎質問2番

12番 森本 恵理子

#### 1 自治体ブランディングについて

- ① ブランド構築の現状について
- ② 課題対応と市民との共創について
- ③ ブランドの可視化・評価指数について

#### 2 情報発信の再構築について

- ① 市のホームページの再設計について
- ② SNS 情報発信の集約について
- ③ 情報発信に関する庁内の体制整備について
- ④ イベント情報の可視化と掲示板の設置について
- ⑤ 情報戦略について

#### 3 船岡公園の活性化について

- ① 山麓トイレと水道設置について
- ② 景観形成について
- ③ 歴史的・文化的価値の活用、発信について
- ④ 市民との連携について
- ⑤ 今後の方針について

### ◎質問3番

13番 佐藤 隆一

#### 1 燃やして埋め立てからの転換へ

- ① ごみ処理事業の将来構想について
- ② リチウム蓄電池の処理業務について
- ③ 分別の徹底について
- ④ 有価物売却益の具体的な目標設定について

⑤ 核燃料廃棄物と柏崎刈羽原発再稼働について

◎質問4番

10番 住 安 康 一

1 機能別消防団について

① 機能別消防団員制度は各自治体それぞれの実情に合わせ、様々な活動形態が考えられるが、当市においての特別消防団員制度はごく一部の活動形態であり、団員も基本消防団経験者の方のみで、一般の方や主婦を含めた女性、防災士の方や後方支援のできる方など、市民の力をもっともっと活用し、機能別消防団員制度の構築・充実をはかるべきと考える。考えを伺う。

2 帯状疱疹ワクチン接種の補助の拡充について

① 接種費用が高齢者にとってみると高額だ。市の補助を増額し、魚沼市のようなレベル、生ワクチン接種で3,000円以下、組換えワクチン接種で1万円以下まで下げる検討をするべき。また、帯状疱疹は50歳以上から罹患率が徐々に高くなります。50歳から65歳までの方の接種費用の助成をすべきだ。考えを伺う。

3 物価高騰対策、関税対策及び猛暑対策について

① 物価高騰対策としての暮らしへの支援についての提案として、

- ・水道料金への支援（基本料金の無償化）
- ・一般向けプレミアム商品券の発行およびひとり親世帯などの生活困窮世帯への商品券の配布。
- ・保育所や認可幼稚園、小中学校の給食費の数か月分の無償化。
- ・フードバンクへのさらなる支援や、子ども食堂への支援。

などが有効ではないかと考える。これらの提案に対するご見解および、当市として、暮らしへの支援について物価高騰対策、関税対策をどのように進めるのか、考えを伺う。

② 当市として企業や事業所に対して、物価高騰対策、関税対策をどのように進めるのか。

③ 猛暑における熱中症対策としての企業支援の提案として、

- ・空調付き作業着購入への補助
- ・冷風機や冷水器購入への補助

など、様々な支援が考えられる。提案に対する見解を伺うとともに、猛暑が予想される中、熱中症の重篤化防止のため、働く環境の向上のために、当市としてはどのような支援をしていくのかを伺う。

◎質問5番

8番 内山博志

- 1 全ての農家に希望の持てる農機具購入補助について
  - ① 小千谷市の耕作放棄地はどのように変化しているのか統計数字はありますか。または、どのように推測していますか。
  - ② 小千谷市の農業の今後について、大規模農家の役割、小規模農家の役割と今後のあり方についてどのように考えているのか伺います。
  - ③ 小千谷市としても農業を守るために農機具更新のための補助金制度を検討すべきではないかと考えますが、市長のお考えを伺います。
- 2 柏崎刈羽原発再稼働の是非についての市の判断について
  - ① 新潟県が行った「緊急時対応」と「事故時の被爆シュミレーション」の結果について花角県知事が「避難計画や屋内退避の考え方が有効であると検証できた」と述べたことについて市長の所感はいかがか。
  - ② これから知事に小千谷市を代表する市長としての意見を述べるに当たり、小千谷市民の声をどう集約し、判断するのか伺う。
  - ③ 市が策定する避難計画で避難する交通手段など市民が納得できる実効性ある避難計画が出来ない中で再稼働すべきでないとお考えを伺う。
  - ④ 知事の「県民の信を問う」発言はとらえようによっては、知事が原発再稼働を判断したあとに、知事選などで「県民の信を問う」というシナリオも考えられる。市長はこのような見切り発車的なシナリオをどう考えるか伺う。

## 市政に対する一般質問

(令和7年6月19日)

### ◎質問6番

1番 廣井良宣

- 1 温室効果ガス削減量認証「J-クレジット」について
  - ① 再生可能エネルギーの導入を目指す行政自身もJ-クレジットの創出に向けた取り組みを推進すべきでは。
  - ② 温室効果ガスの排出削減や吸収量の増加につながる事業の実施を市内製造業や非製造業に組みの推進を図る必要があるのでは。
  - ③ 温室効果ガスの削減量が少ない事業所や農家などを行政が手続き面で支援する必要があるのでは。
- 2 有機フッ素化合物（PFAS）に対する対応について
  - ① 来年4月からの水道法上の水質基準となることについて
  - ② 基準値を超えた場合の対応について
  - ③ 市内河川等でもPFASの調査が必要では。

### ◎質問7番

11番 駒井和彦

- 1 当市が展開する施策の現状と課題、今後について
  - ① みんなの一步で未来づくり大作戦の現状と今後の展開等について
  - ② 小中学校等の教育現場における、事故防止等の現状と今後の課題について
  - ③ 当市女性幹部職員登用の現状と今後等について
  - ④ パートナリシップ宣誓制度導入の是非について
  - ⑤ 当市職員に対するカスハラ等の現状と今後の対応について
  - ⑥ 市長の目指すリーダー像について
  - ⑦ 山本山の安全整備について
- 2 柏崎刈羽原発再稼働について
  - ① 県民投票条例(案)に付した知事の意見について
  - ② 知事が再稼働の是非を市長に聞いてきた際の対応について
  - ③ 事前了解権を持つ安全協定の締結について
  - ④ 知事の特措法の拡大要望について
  - ⑤ 被爆シミュレーションについて
  - ⑥ 複合災害時避難の実効性について

◎質問8番

6番 平 澤 智

- 1 おぢやっ子教育プランにおけるふるさと教育推進について
  - ① 部活動地域移行の観点から考えるふるさと教育について
  - ② 伝統文化の次世代への継承の観点から考えるふるさと教育について
  - ③ 地域愛の醸成という観点から考えるふるさと教育について
  - ④ 地域や家庭内においても積極的に発信するふるさと教育について

◎質問9番

3番 和 田 忠 篤

- 1 公共交通の課題及びA I オンデマンド交通について
  - ① 公共交通の利用者減少に対する利用促進施策について
  - ② A I オンデマンド交通の運行開始に向けた市民への周知方法について
  - ③ 運行区域の拡大予定について
  - ④ 運行開始時間の見直しの可能性について
  - ⑤ A I オンデマンド交通の利用促進のために「周知」以外の施策について
- 2 小千谷市立小中学校の在り方検討委員会について
  - ① 検討委員会の進捗状況と協議内容について
  - ② 保護者・地域住民の意見聴取の予定について
  - ③ 就学前や子育て予定世帯の意向把握について
  - ④ 検討状況の情報提供方法について
  - ⑤ 答申提出後の進め方について

◎質問10番

5番 高 木 健 太

- 1 市民の家・小千谷信濃川水力発電館をアウトドア施設へ転換する方針に関して
  - ① 施設の基本目的とターゲットの整理について
  - ② サウンディング調査結果の受け止めと方向転換の根拠について
  - ③ 運営体制の転換によるコスト削減等の見通しについて
  - ④ 市民・利用者の声の収集・事業計画への反映について
  - ⑤ アウトドア協会への期待と役割について